

『日本靈異記』『聖徳皇太子示異表縁』

【之】

01

小墾田宮御宇天皇代立之

小墾田の宮に宇(あめのした)御(おさ)めたまひし天皇の代に立ちて

能聞之別

能く聞きて別(わ)きたまふ

02

太子見之

太子見て

俱語之

俱に語りて

太子取衣著之

太子衣を取りて著(き)たまふ

更著之

更に著たまふ

汝不知之也

汝は知らず

太子聞之

太子聞きて

無之入人

入りたる人無し

04

太子聞之

太子聞きて

05

優婆塞見之白師

優婆塞見て師に白す

優婆塞竊穿坊壁而窺之者

優婆塞竊(ひそか)に坊の壁を穿ちて窺えば

【者も】

優婆塞見之

優婆塞見て

師答之言

師答へて言はく

逢於優婆塞而談之

優婆塞に逢ひて談りて

而聖人用食之者無所得罪耳

而れども聖人用(もちい)食むときは罪を得る無し